

## 女性門徒会員選出に向けて



組門徒会長 安居 重晴（浄教寺門徒）

国会で、男女共同参画基本法が審議され、法律として制定されたのが平成11年（1999）でした。日本国憲法には、男女平等の精神が、「個人の尊重と法の下での平等」としてうたわれ、今日、その実現に向け様々な取り組みが、国から地域や企業に展開され、女性の進出が際立つようになってまいりました。

「男女平等」古くて新しい言葉のように感じますが、親鸞聖人は、鎌倉時代、世は戦乱と飢餓や疫病などで乱れ絶望の社会の中で、男尊女卑、女人不浄が当然とされていました。そんな時代にいわゆる「男女平等、女人往生」を説かれ、人々に心の安らぎと目覚めを与えられたことを考えますと、数百年の時代を経た現在でも親鸞聖人が説かれた考え方が生きていることに感動を覚えます。

国際社会と連動しつつ、男女共同参画推進は展開されていますが、私たちの真宗大谷派も、平成15年3月に男女共同参画推進に向けた特別措置条例が施行され、重要課題の一つとして、宗門全体、教区、組で展開されています。このことを推進するには、「女性は何をすべきか、男性は何をすべきなのか」が話題になると思いますが、ひらたく言えば、「男女という属性によって行動範囲や考え方の範囲が決めつけられることをなくそう」というのが男女共同参画の根底にあると考えます。

24組においても、平成27年7月の組総会におきまして、「女性門徒会員の選出」に関し積極的に推進することが提案され承認を受けました。3年後の改選を待たず、平成28年2月末までに1名以上の女性の門徒会員を選出するよう決定され、来年が改革元年となります。24組が、多くの女性の意見や考え方を取り入れ、新しい事業が展開され、各教化事業等に多くの方々の参加が得られるよう、また行政面でも女性が一層の活躍されるよう門徒会としても期待するものでございます。

門徒会の皆さま、各寺の責任役員、総代の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。本年度7月末開催の24組総会で女性門徒会員選出に関し承認された内容は次の通りです。

- 1、男女共同参画推進に向けた特別措置条例施行（平成26年3月施行9年間の時限立法）
  - ① 組門徒会員に各寺1名以上の女性を選任する。
  - ② 組門徒会員の定数を組内の寺院数の3倍以内（90名）とする。

## 2. 24組女性門徒会員選出の推進案

①できる限り各寺1名以上を選出する。(各寺の男女総定数は3名)

②責任役員又は総代等の役員であることが望ましい。

## 3. 門徒会での位置付け

①門徒会規約に則り、自覚と責任を負うものとする。

②門徒会幹事、教化委員会委員への選任もある。

## 4. 女性門徒会員名簿の提出

①平成28年2月末までに所定の用紙で組長あてに提出する。

②女性門徒会員を選出できない場合は、その旨の理由書の提出が必要。

# 真宗本廟 報恩講 -ご案内-

私たち真宗門徒が宗祖と仰ぐ親鸞聖人は、1262(弘長2)年11月28日に、そのご生涯を終えられました。宗祖が果たされたお仕事の大切さを讃え、文字どおり恩徳に感謝し報いるためのおつとめが報恩講です。一人ひとりが自らの生活を振り返り、宗祖親鸞聖人の教えの意義を確かめる、一年でもっとも大切な御仏事です。

報恩講は、全国各地の寺院・教会をはじめ、門徒の家々においてもつとめられており、「お取越(おとりこし)」や「お引上(おひきあげ)」の名でも親しまれています。「お取越」とは報恩講の別称なのです。親鸞聖人の御命日が巡ってくる前に取り越してつとめるからそう言われています。「お引上」も同様の意味です。報恩講は聞法と共に、人々が寄り合い、御齋をいただく事など、あたたかな触れ合いの中で、今日まで脈々とつとめられてきました。お誘い合わせてお参りいたしましょう。

**期日 11月21日(土)～28日(土)**

**会場 真宗本廟(京都：東本願寺)**

※法要日程の詳細については、同朋新聞を参照ください。



## 各寺の法座のご案内

※報告寺院のみ掲載

会場	法座名	期日	法話者
浄教寺(東阿閉)	報恩講	12月4日(金)～6日(日)	平等良香氏5日午後のみ
覚勝寺(西阿閉)	報恩講	11月14日(土)～15日(日)	住職
圓行寺(西柳野)	報恩講	10月30日(金)～11月1日(日)	住職
充滿寺(西野)	報恩講	10月31日(土)～11月1日(日)	専照寺住職
教覚寺(重則)	報恩講	11月15日(日)	住職
随願寺(柳野中)	永代経	12月12日(土)午前10時30分	住職
	報恩講	12月12日(土)午後より13日(日)	住職
本宗寺(磯野)	報恩講	12月5日(土)～6日(日)	住職

双林寺（西物部）	報恩講	11月22日（日）～23日（月）	住職
証光寺（東物部）	報恩講	11月7日（土）～8日（日）	橘善證氏・益田弦氏
猶存寺（布施）	報恩講	11月13日（金）～15日（日）	住職
長照寺（唐川）	報恩講	11月14日（土）～15日（日）	高岡淳氏・住職・副住職
	永代経	11月28日（土）午後1時	橘善證氏
圓常寺（千田）	報恩講	11月6日（金）～8日（日）	住職
来入寺（千田）	報恩講	11月6日（金）～8日（日）	住職
明德寺（黒田）	報恩講	11月13日（金）～16日（月）	藤本有氏
樹徳寺（田居）	報恩講	11月6日（金）～9日（月）	秦信映氏
誓海寺（大音）	報恩講	11月13日（金）～15日（日）	住職
明源寺（今市）	報恩講	11月7日（土）～8日（日）	伊藤賢隆氏
景好寺（柳ヶ瀬）	報恩講	11月1日（日）午後1時	秦信映氏

## 社会問題研修会報告



平成27年10月10日随願寺(柳野中)様にお世話になり、社会問題研修会が開催されました。講師に12組等倫寺住職曾我謙成先生を迎え御講話頂きました。

木之本町広瀬の信楽会館で真宗大谷派同和関係寺院協議会を結成し、部落差別の克服を願われた朝野温知先生のお話をして頂きました。24組と御縁の深いお話で、参加者一同熱心に御講話に聞き入りました。最後に部落解放運動を進めている真宗門徒の人々は、いつも「我々は、親鸞聖人の門徒であることを誇りに思っている。」と言っておられます。「私たちは、どうでしょう。」と問われたことが、心に響きました。 (社会部会 川那部 恵龍)

### 【ご本尊還座式】

### 団体参拝募集について

2011年11月29日、阿弥陀堂ご修復工事にあたり、御本尊・阿弥陀如来が仮阿弥陀堂へご動座されました。以来4年の歳月を経てご修復工事が12月末をもって完了する運びとなりました。9月下旬より工事のため覆っていた素屋根の解体工事が始まり、外壁が取り外され、11月には軀対の鉄骨が解体されます。12月上旬から基礎コンクリートの解体が始まり、年内にはすべての修復工事が終了します。真宗本廟が着々と本来の姿を取り戻しています。

来年3月31日（木）には、「ご本尊還座式」が執り行われます。2012年1月から始まった宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別記念事業「真宗本廟両堂等のご修復工事」が、これをもってめでたく完了となります。

24組では、この記念すべき還座式に団体参拝の計画をしています。年が明けましたら改めてご案内をし、参加者の募集を始めさせていただきます。またとない仏縁ですので多くの方のご参加を願っています。バスで行きますのでご予約くだされば幸甚です。

**日時：平成28年3月31日（木）**

# 御越年法要の由来

歳末から年始にかけては、誰もが過ぎた一年のことをふり振り返り、来る年に希望をつなぐ大切な時期であります。旧湖北1市3郡では、毎年12月26日より翌年正月8日まで「御越年(ごおつねん)法要」として、東本願寺第20代達如上人が旧1市3郡へ御下付された、御父君乗如上人の御影2幅を1ヶ所に掛けまして法要を営み、念仏相續して各自の信心を確かめてこられました。

また、これが終わると、最寄の村から順にその1幅ずつを2ヶ所にわけて「御鏡割法要」を営み、さらに続いて各集落毎に「まわりぼとけ様の法要」が営まれます。

その由来は今から約220余年前の天明8年(1788)、乗如上人45歳の時、京都に大火災がありました。正月30日の暁、洛東からでた火は鴨川を越えて西にひろがり、暴風にあおられて町々にとび、大内裡、仙洞御所、二条城をはじめ、東本願寺も、宝庫と枳殻邸(きこくてい)を残して全部焼け、各宗寺院950ヶ寺、民家19万1000戸、死者2630人に及びました。東本願寺では取りあえず仮の本堂として翌年5月、河内国八尾別院の本堂を移しました。

その翌年再建の御書を発せられ、それには「上は仏祖代々の冥意に対し下は門葉の悲歎に進退につき道を失える有様なり(中略)然れば即ち、一流にその名をかけたる道俗、如来大悲の恩徳を念じいささか当方の微意をくみえて、まず他力の信心を獲得して懇念のまことより自他一味の志を励まして一同の助成によって、速やかに再建就候ように、偏に頼み思うことにて候」と仰せられています。そして翌年3月28日から御影堂建立の工事が進められ、時の將軍徳川家斉公から飛驒の木材2000本等の寄進もありましたが、悲しいかな乗如上人は御悲歎と御辛勞のため、同4年2月22日49歳をもってお亡くなりになりました。

次いで第20代達如上人が工事を完了せられましたが、その期間、諸国の門徒が御手伝いにあがり、その合宿所が詰所等となづけて今も本山周辺に残っています。(※伊香詰所)

さて、達如上人は落慶法要にあたり、今日成就のよろこびは偏に乗如上人のご功績によるものと申され、かねて存命中に描かれた御寿像をお掛けになり、勤修されたと伝えられておりますが、程なく達如上人は、永い年月にわたり国もとを離れ再建のお手伝いに従事した湖北旧1市3郡門徒衆の苦勞に対し、特に乗如上人の御寿像2幅と御書(ごしょ)をお下げになり、法義相續を願われました。これは曾(かつ)て先例もないことなので、尊い思召しに感泣した代表の人々は、乗如上人の御命日の日をとって、湖北旧1市三郡一円の「二十二日講」を組織いたしました。この中心行事となるものが御越年であって、長浜旧市内、旧坂田郡山西、旧同郡山東、旧上浅井、旧伊香、旧下浅井の順に年々継承されております。

この御影は御生前のお姿ゆえ御寿像と申し、必ず毎年の年末年始にお鏡餅を供えて「御鏡割法要」を勤め、それを小割りして一般の信徒に分け、さらに、「まわりぼとけ様の法要」を営むことになりました。こうした大切な法要でありますから、こぞって参詣いたし、仏祖の報恩に御先祖の御苦勞感謝を兼ねて、念仏相續にいそしみたいところであります。(秦広報委員)

## <本年御越年法要日程> 日中は午前9時30分・速夜は午後1時より

◆本年の御越年法要は、長浜市八幡東町と七条町で勤められます。法話者と会場は次の通りです。

12月26日(土)	速夜	鷹橋賢由氏(揖斐郡池田町:浄徳寺)	宿一川村茂雄宅
12月27日(日)	日中・速夜	三原了雲氏(長浜市弓削町:来現寺)	宿一川村茂雄宅
12月28日(月)	日中・速夜	京極眞了氏(米原市多和田:即往寺)	宿一清水良宏宅
12月29日(火)	日中・速夜	老泉俊樹氏(海津市平田町:圓超寺)	宿一清水良宏宅
1月5日(火)	日中・速夜	佐藤義成氏(長浜市湯次町:満徳寺)	宿一木野松造宅
1月6日(水)	日中・速夜	澤面宣了氏(長浜市相撲町:浄願寺)	宿一木野松造宅
1月7日(木)	日中・速夜	堀澤俊行氏(米原市上野:念願寺)	宿一中野勇蔵宅
1月8日(金)	日中	秦 信映氏(長浜市木之本町:明徳寺)	宿一中野勇蔵宅